

銀漢亭日録



伊藤伊那男

9月26日(木)

▼古市枯声さんより秋刀魚二十五本到来。北村皆雄監督、井月顕彰会・平澤事務局長見えて、井月忌の集いを東京で挙行したいと。武田編集長に入ってもらい、案を出し合うことに。津田卓さん、仕事を終えて名古屋へ戻るとして壮行会。武田編集長が幹事。何と四十五名集合。ついに「あまちゃん」最終回。店、「白熱句会」。水内慶太、小山徳夫、井上弘美、藤田直子、佐怒賀正美、松山哲彦氏。

27日(金)

▼十時、編集会議。馬場龍吉さん(デザイン担当)にも入っていただき、運営委員会メンバーも加わり、来年の編集方針について。十四時、発行所にて「纏句会」。あと咸亨酒店にて親睦会。紹興酒、うまくてうまくて……。あと渋谷「福ちゃん」に寄り、鮎、北寄貝でまた……。

30日(月)

▼「天為」編集長・天野小石さん誕生祝の会。二十五名ほど集まる。貸し切り状態となる。甥の俊輔君、近くに来た。

10月2日(水)

▼台風接近で雨。伊勢は大丈夫か? 今夜、内宮御遷宮。発行所「きさらぎ句会」あと七人、ひまわり館「宙句会」あと六人、「読む会」五人、など。「春耕」の池内さん、柚口さんと寄つて下さる。

5日(土)

▼昼、日本橋「与志喜」に銀河同人七名集合し、今後の「銀漢」の運営についての意見交換。その前に、当季雑詠五句の句会。あとカウンターで寿司をいただく。

6日(日)

▼十五時半、坪井研治さんと天現寺。妻の葬儀の寺、久々。住職を訪ね、再来年からの井月忌の集いの会場提

7日(月)

供のお願い。ほぼ了解いただく。渋谷に出て「鳥竹」で鰻串他で酒。……最後の店でうどんを食べたが、途中の店思い出せず。

9日(水)

▼藤田ひろむさんより、土肥あき子さん執筆の愛媛新聞「季のうた」に、小生の「へづる子をとんぼの空へ肩車」が掲載された、記事送ってください。

11日(金)

▼店、近恵さん、現代俳句協会新人賞受賞祝賀会。石寒太「炎環」主宰をはじめ、四十八名程が参集し祝う。

14日(月)

▼青柳志解樹さんの「山暦」から依頼の同人評など。午後、成城の桃子の家。引越しのあと初めての訪問。私が住むことになる部屋はまだ荷物の山。杏子一家も来て食事会。秋刀魚の味噌漬、松茸のスキヤキ、からすみ大根など。

19日(土)

▼十時半、池上駅。「十六夜句会」と「金星句会」の合同吟行会。十五名位。本門寺から洗足池。東工大教室にて七句出し句会。あと駅前の店にて親睦会。更に有志で二次会。

20日(日)

▼午前中、整体。中島凌雲君、結婚式の二次会用に、扇子に「通天閣凌ぐ高さに色鳥来」と書いて贈る。夕方、鷹羽狩行主宰の「狩」創刊三十五周年記念祝賀会、横浜ベイホテル東急。来賓百三十名程。対馬康子、奥坂まやさんと隣席。朝妻力さんも大阪から。脇屋シェフの中華料理の宴。

22日(火)

▼鈴木踏青子さん、スーダンで医療活動している川原尚行医師一行と来店。川原医師はひと月前、NHKテレビ

で飲み直し。

3日(日)

▼九時、武田山荘にて五句出し句会。渋谷温泉の明治温泉旅館にドライブレ入浴。戻って、茸のスキヤキパーティー。先月、坪井さんに雑草を入手してもらい冷凍していたもの。途中、三句出し句会。十六時半発。中央道大渋滞にて帰宅二十二時前。

4日(月)

▼十時半よりよみうりホールにてフォーラム「纏向出現 卑弥呼は九州にいたか?」に。九州説と大和説の卑弥呼論争。十六時まで。武田夫妻と六本木ヒルズの宮澤の伊勢神宮写真展。最終日にて桃子、孫も来ている。

7日(木)

▼清人さん鮎の会、十四人。「十六夜句会」七人。坂口晴子さん、長崎から友人と。常連客も多く、実に賑やか。

9日(土)

▼大阪新阪急ホテルにて「雲の峰」創刊二十五周年記念祝賀会。二百人近い大パーティー。同ホテルのバーにて二次会。あと昔の仲間Y君と通天閣に落ち合いジャンジャン横丁など。新幹線最終便に飛び乗る。

11日(月)

▼店、今日から「写真とコトノハ展」。幹事、倉田有希さんらが展示。関係者入れ替わり立ち代わり……。洋酔、望月周夫妻、桜ゆかりさんはじめ、元「月刊ヘップバーン」の方々。榎未知子さん。奥は谷岡健彦さん幹事で「俳句をつくる演劇人の会」第一回がスタート。発行所は最終校正のあと「かさぎ俳句勉強会」十三人。北村監督 相子智恵さん、井月忌の集いの打ち合わせで。▼発行所「梶の葉句会」の選句。店、「写真とコトノハ展」の面々十数名の集い。鳥居真里子さん。

13日(水)

11月1日(金)

▼発行所「大倉句会」。あと清人さんの鮎パーティーとなる。十一人。北村監督、井月顕彰会・平澤事務局長、井ノ口さん、井月忌の集いの件で打ち合わせに。

2日(土)

▼十時、運営委員会。午後、「本部句会」四十四人。そのあと、編集部で懇話会。馬場龍吉さんゲストで十三人。「三駒」で山女の塩焼き、馬刺、ほうとう鍋の夕食。濁酒うまし。武田山荘で二次会。暖炉の前で寝てしまふ。坪井山荘へ分かれて泊まる。復活して二時ま